

形成外科 初期研修プログラム

< 基本目標 >

1) 一般教育目標

- ・患者の視点に立った診療を目指し、指導教官だけでなく教室員と共に研修に努める。
- ・臨床医になるにあたって、外科学の基本である創傷治癒について理解する。

2) 個別行動目標

- ・手術の基本手技である切開法、縫合法、ドレッシング法を習得する。
- ・顔面・手外傷（急性疾患）のプライマリーケアを習得する。
- ・形成外科は、他科との合同手術（再建外科）を行うため、チーム医療について学び、再建方法について立案できるように努める。

尚、研修期間は最低2か月とし、後期研修として形成外科を希望する場合、形成外科専門医を取得するために形成外科学会入会、学会発表や論文作成指導を行う。また専門医取得のための、日本形成外科学会講習会への

参加に便宜を計る。

< 指導教官 >

教授 朝村真一 講師 和田仁孝

講師 宮崎英隆 助教 上野一樹

< スケジュールの目標と解説 >

術式について、カンファランス（金曜日）で述べることを目標とする。外来では新規患者の予診を取り、診断をつけた上で、必要な検査や処置の助手を行う。また入院患者の主治医となって、術後の処置にあたり、指導教官がドレッシング法の実際（圧迫・固定の重要性）を解説する。

< 評価 >

診療全般にわたり、指導教官が評価する。